

第429回 新経営具体化研究会

アジアの高度人材が活躍するための採用・人事戦略
ーグローバルな人的資本経営の推進へー

講師： 九門大士氏

亜細亜大学アジア研究所 教授

司会： 杉井清久

(株)現代経営技術研究所 主任講師

2026年7月8日(水)

15:00~17:00

Zoom によるオンライン開催

海外からの高度人材は、日本企業の新たな成長のドライバーであり、私たち日本社会の多様性を向上させる存在です。その採用と活躍環境の整備は、グローバルな人的資本経営の推進の柱になり得ると考えます。

今回は、九門大士氏を講師にお招きして検討を進めます。氏はこう語ります。

「世界中で日本の魅力は私たちの想定を超える強さをもっています。その魅力が強力な磁場となりアジアの高度人材を惹き付けています。だからこそ日本で働きたいと憧れる若い海外のタレントの活躍を後押しする企業風土を企業はつくらなければならないのです」

氏を囲んでアジアの高度人材を最適な条件で採用し、彼ら、彼女らが、活力をもって働き、成長して、自らのタレントを発揮できる企業システムづくりについてうかがいます。氏の豊富な研究事例をうかがいながらすぐれたアジアの高度人材を採用し、存分に活躍してもらう人事戦略について検討します。

是非のご参加をお勧めします。

現研所長 大槻裕志



- I. 日本企業の魅力を効果的に訴求するリクルート戦略
- II. 非漢字圏出身者と英語コース卒業生の採用と活躍環境の整備
- III. 高度人材の雇用はジョブ型か？メンバーシップ型か？
- IV. キャリアデザイン共有型の採用と人事運用
- V. 講師提言と質疑応答

講師プロフィール
九門大士氏
(くもんたかし)

亜細亜大学アジア研究所教授。慶応義塾大学法学部卒、米ミシガン大学公共政策大学院修了。JETRO（日本貿易振興機構）にて中国・アジアにおける人材マネジメント・企業動向のリサーチなどを担当。中国・清華大学経済管理学院にて1年間の研修。2010年にグローバル人材育成を主業務として独立。東京大学工学部特任研究員、亜細亜大学国際関係学部特任教授などを経て、現職に就く。主な著書に『日本を愛する外国人がなぜ日本企業で活躍できないのか？』（日経BP,2020年）『アジアで働く』（英治出版,2012年）、『中国進出企業の人材活用と人事戦略』（JETRO,共著）など。ブログ：<https://note.com/takashikumon> 九門大士（くもんたかし）氏

国際関係学部特任教授などを経て、現職に就く。主な著書に『日本を愛する外国人がなぜ日本企業で活躍できないのか？』（日経BP,2020年）『アジアで働く』（英治出版,2012年）、『中国進出企業の人材活用と人事戦略』（JETRO,共著）など。ブログ：<https://note.com/takashikumon> 九門大士（くもんたかし）氏

